

国土交通副大臣に要望書提出

●●● 2.15



石原市長らが国土交通省を訪れ、津波から港や地域住民を守るための護岸整備の予算を確保するよう要望しました。

松下まつゑさんの百歳を祝う

●●● 2.14



2月15日に100歳の誕生日を迎える本町の松下まつゑさん宅を石原市長が訪ね、祝い状や花束を贈り長寿を祝いました。

アカウミガメの産地守りたい

●●● 2.21



御前崎小の5年生がアカウミガメの生態や環境保護をテーマにした学習の成果を保護者らの前で発表しました。

みんなで力を合わせ「せーの」

●●● 2.19



第8回市綱引き大会が浜岡中体育館で開催され、18チーム170人が体力増進を図るとともに仲間との連帯感を深めました。

今年も温かい善意の心が届く

●●● 2.3



浜岡中央児童館と池新田幼稚園、浜岡保育園へ「伊達直人」の名で福豆や菓子の詰め合わせが贈られました。

防 風林を地域で守りたい

ボランティアで植樹

●●● 1.22

合戸町内会やボーイスカウトのメンバーら約60人が、高松地区合戸の保全林内でクロマツの苗木600本を植えました。この取り組みは、松くい虫の被害にあった海岸の松林を復元し、緑豊かな自然景観を後世に残すために実施されているもので、参加者は、早く立派なマツに育つよう願いを込めて1本ずつ丁寧に植えていきました。海岸松林を地域住民で守り育てていこうという取り組みは、池新田地区や高松地区塩原でも実施されています。

▼地域住民が丁寧にマツを植えていった



干 サンマの干ものの作り ものの作り方覚えてよ

●●● 1.23

普段食べている食事が、どのようにして食卓まで届くのかを学ぶため、さくら子ども園の年長・年中園児が、サンマの干ものの作りに挑戦しました。

園児は、サンマの尾びれをひもでしばり、さお竹に吊し遠州の空っ風で4日ほど乾燥させてから、炭火で焼いて食べました。丸ごと1匹のサンマを残さずきれいに食べる園児に、吉村栄養士は「調理に携わることで、命の大切さを学ぶと同時に魚も好きになってほしい」と期待を寄せていました。

▼干ものの作りを楽しむ園児

